

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東大

上場会社名 日立化成工業株式会社  
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 田中 一行  
 (氏名) 加藤 丈士

TEL 03-5381-2370

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	335,827	△18.2	28,013	△2.4	26,373	△3.8	16,649	9.3
21年3月期第3四半期	410,449	—	28,690	—	27,426	—	15,226	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	79.94	—
21年3月期第3四半期	73.10	73.10

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	411,182	273,187	63.3	1,248.92
21年3月期	391,350	263,588	64.1	1,203.92

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 260,096百万円 21年3月期 250,765百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	17.00	—	15.00	32.00
22年3月期	—	15.00	—		
22年3月期(予想)				17.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	445,000	△8.9	34,000	70.5	31,500	90.6	20,000	629.9	96.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	208,364,913株	21年3月期	208,364,913株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	108,370株	21年3月期	74,981株
-----------	-------------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	208,261,068株	21年3月期第3四半期	208,291,533株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月29日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。上記の予想に関連する事項については、添付資料の4ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成21年4月1日から同年12月31日までの連結業績につきましては、売上高は3,358億27百万円(前年同期比18.2%減)となりました。中国ほか各国の経済対策を背景に、デジタル家電や自動車を中心とする市場において需要が増加してきたものの、本格的な回復には至らず、エレクトロニクス関連製品、機能性材料関連製品とも売上高は前年同期実績を下回りました。その結果、営業利益は280億13百万円(前年同期比2.4%減)、経常利益は263億73百万円(前年同期比3.8%減)と前年同期実績を下回りました。また、グループ会社の業績回復により、四半期純利益は166億49百万円(前年同期比9.3%増)と前年同期実績を上回りました。

部門別の営業の状況は以下のとおりです(各部門の売上高は、部門間内部売上高消去後の数値を記載)。

#### エレクトロニクス関連製品部門

当部門の売上高は前年同期実績の14.1%減に当たる1,835億84百万円となりました。

##### (1) 半導体・ディスプレイ用材料

半導体用材料では、回路平坦化用研磨材料及びダイボンディング材料が、半導体市場が本格的な回復には至らず前年同期実績を下回る売上となりました。一方、エポキシ封止材は、中国におけるデジタル家電等の需要の拡大に伴い、前年同期実績を上回りました。

ディスプレイ用材料では、中国における液晶テレビ等の需要の拡大に伴い、回路接続フィルムが前年同期実績を上回りました。

##### (2) 配線板及び配線板用材料

配線板では、自動車及び半導体市場が本格的な回復には至らず、多層プリント配線板の売上が前年同期実績を下回りました。

配線板用材料では、需要の減少により、プリント配線板用銅張積層板が前年同期実績を下回る売上となりました。また、プリント配線板用感光性フィルムは、中国の旺盛な需要を取り込んだものの、国内需要の回復が遅れたことから、前年同期実績を下回りました。

##### (3) その他

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、需要減の影響を受け、前年同期実績を下回りました。

コンデンサは、タンタルコンデンサ及びアルミ電解コンデンサの売上が減少し、前年同期実績を下回る売上となりました。

#### 機能性材料関連製品部門

当部門の売上高は前年同期実績の22.7%減に当たる1,522億43百万円となりました。

##### (1) 工業用素材

電気絶縁用ワニスは、自動車用等の需要が減少した影響を受け、前年同期実績を下回る売上となりました。また、エポキシ樹脂硬化剤は、自動車用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

##### (2) カーボン・セラミックス

電刷子は、自動車向け等の需要減により、前年同期実績を下回る売上となりました。また、セラミックス関連製品は、半導体製造装置向け及び自動車ウォーターポンプ向けの売上が減少し、前年同期実績を下回りました。

##### (3) 自動車部品

内・外装成形品及び摩擦材料は、自動車生産台数減少の影響を受け、前年同期実績を下回る売上となりました。

##### (4) 機能性フィルム

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用等の需要減により、前年同期実績

を下回る売上となりました。また、非接触式 I C カード・タグは、アミューズメント分野での需要減少により、前年同期実績を下回りました。

#### (5) その他

診断薬は、遺伝子受託検査及び卓上型血液迅速検査システムが売上を伸ばしたことにより、前年同期実績を上回りました。

粉末冶金製品は、自動車用機械部品等の売上が減少したため、前年同期実績を下回りました。

蓄電池は、自動車新車用等の売上が減少したことから、前年同期実績を下回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から 198 億 32 百万円増加し 4,111 億 82 百万円となりました。主に受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が 312 億 41 百万円増加したことによるものです。

### (2) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から 102 億 33 百万円増加し 1,379 億 95 百万円となりました。主に支払手形及び買掛金が増加し、流動負債が 99 億 17 百万円増加したことによるものです。

### (3) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から 95 億 99 百万円増加し 2,731 億 87 百万円となりました。主に利益剰余金が増加し、株主資本が 103 億円増加したことによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期において、デジタル家電等の中国における需要が好調を維持したほか、自動車関連の需要が継続したことを背景に、エレクトロニクス関連製品を中心に売上が予想よりも堅調に推移したことを踏まえ、通期の業績予想を修正しました。平成22年3月期通期の業績は、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

### 〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B) (平成21年10月29日)	増減額(A-B)	増減率
売上高	4,450 億円	4,350 億円	100 億円	2.3%
営業利益	340 億円	280 億円	60 億円	21.4%
経常利益	315 億円	255 億円	60 億円	23.5%
当期純利益	200 億円	160 億円	40 億円	25.0%

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当なし

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (簡便な会計処理)

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。これにより、売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,260	30,115
受取手形及び売掛金	105,847	77,235
製品	15,584	16,432
仕掛品	9,228	8,747
原材料	10,776	9,823
関係会社預け金	47,616	43,849
その他	21,030	25,562
貸倒引当金	△5,642	△4,305
流動資産合計	238,699	207,458
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,886	41,791
機械装置及び運搬具（純額）	51,572	57,294
土地	19,206	19,397
その他（純額）	16,029	20,516
有形固定資産合計	129,693	138,998
無形固定資産	5,913	6,556
投資その他の資産		
投資有価証券	18,567	16,460
その他	19,321	22,666
貸倒引当金	△1,011	△788
投資その他の資産合計	36,877	38,338
固定資産合計	172,483	183,892
資産合計	411,182	391,350

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,700	36,926
短期借入金	12,025	13,434
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	7,591	2,297
その他	33,910	37,652
流動負債合計	105,226	95,309
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,500	2,126
退職給付引当金	15,610	14,940
役員退職慰労引当金	1,504	1,673
負ののれん	804	1,481
その他	2,351	2,233
固定負債合計	32,769	32,453
負債合計	137,995	127,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	220,894	210,554
自己株式	△178	△138
株主資本合計	272,283	261,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,782	533
繰延ヘッジ損益	△20	△7
為替換算調整勘定	△13,949	△11,744
評価・換算差額等合計	△12,187	△11,218
少数株主持分	13,091	12,823
純資産合計	273,187	263,588
負債純資産合計	411,182	391,350

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	410,449	335,827
売上原価	318,540	251,671
売上総利益	91,909	84,156
販売費及び一般管理費		
退職給付引当金繰入額	1,349	1,638
貸倒引当金繰入額	—	1,769
従業員給料及び手当	17,606	14,967
荷造及び発送費	12,655	10,586
研究開発費	12,030	11,244
その他	19,579	15,939
販売費及び一般管理費合計	63,219	56,143
営業利益	28,690	28,013
営業外収益		
受取利息	495	222
受取配当金	343	137
受取ロイヤリティー	1,197	955
負ののれん償却額	485	677
その他	1,775	2,366
営業外収益合計	4,295	4,357
営業外費用		
支払利息	821	533
固定資産処分損	690	273
為替差損	1,033	1,238
持分法による投資損失	88	224
製品補修費	—	1,331
その他	2,927	2,398
営業外費用合計	5,559	5,997
経常利益	27,426	26,373
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	27,426	26,373
法人税等	11,132	9,202
少数株主利益	1,068	522
四半期純利益	15,226	16,649



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項なし

(4) 事業の種類別セグメント情報  
前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

(単位：百万円)

科 目	エレクトロニクス 関連製品	機能性材料 関連製品	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 に 対 す る 売 上 高	213,621	196,828	410,449	—	410,449
(2) セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 又 は 振 替 高	992	1,197	2,189	( 2,189)	—
計	214,613	198,025	412,638	( 2,189)	410,449
営 業 利 益	21,936	6,908	28,844	( 154)	28,690

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

(単位：百万円)

科 目	エレクトロニクス 関連製品	機能性材料 関連製品	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 に 対 す る 売 上 高	183,584	152,243	335,827	—	335,827
(2) セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 又 は 振 替 高	116	1,138	1,254	( 1,254)	—
計	183,700	153,381	337,081	( 1,254)	335,827
営 業 利 益	22,949	4,942	27,891	122	28,013

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項なし